



光桂寺だより

第206号

真宗大谷派 光 桂 寺 〒838-0133 福岡県小郡市八坂201
TEL 0942-72-2432 FAX 0942-72-2486 印刷 片山印刷(有)

新しい年は、 幸せを運んでくるのか

二〇一九年となりました。今年は今から先に控えている大きなことが沢山あります。天皇の譲位に伴う新しい元号の制定。参議院議員選挙。消費税10%スタート。これらのことで、どのように変わるのか、変らないのか見つめていきたいものです。

ポーッと生きてんじゃねーよ！
チコちゃんに叱られるという、NHKテレビ番組の「決め言葉」です。流行語大賞にノミネートされました。

蓮如上人のお言葉(お文)で述べられている「まぼろしのごとくなる一期なり。一生過ぎやすし・・・」の白骨の御文の意味が、このことではないでしょうか。「はかなきもの」である我が身に気づくことが、まず大事であります。

「後生の一大事」を感じもしないで(気付かないで)生きている大多数の人間、その私たちに、この言葉は警鐘を鳴らしてくれていると取りたいと思いますが、皆さん如何でしょうか。

さらに真宗の教えに「うなづく」事が最も大切な事です。



もう一つの流行語、流行語大賞に選ばれた「そだねー」。うなづくこと、これが真宗の教えに「うなづく」ように促していると感じたいです。これからの人生、真宗の教えがさらに大切になることでしょう。

年間行事ご案内

- 二月 十六日(土) 光桂寺総代会(九時)
- 三月 三十日(土) 光桂寺門徒会総代会
- 四月 七日(日) 第十九回誕生お祝いの会、花祭り(十二時)
- 四月 十三日(土) 門徒会総会
- 五月 十一日(土) 春の永代経 光澤寺様
お世話前 京手、十楽
- 八月 十日(土) 盆踊り、夏祭り
- 八月 十一日(日) 盆供養、全戦没者追弔会(九時)
- 九月 二十日(金) 仏教婦人会追弔会 西宗寺様
- 九月 臨時光桂寺総代会
- 十月 十二日(土) 秋の永代経 浄慈寺様
お世話前
平方、光行、古飯、団地
- 十月 十二日(土) 臨時門徒会総代会
- 十二月 十四日(土) 子ども報恩講
- 十二月 十七日(火) 報恩講 徳常寺様
お世話前 末次
初おぼん(午後六時)
- 十二月 十八日(水) 報恩講 徳常寺様
お世話前 八坂、馬渡
- 三月 十七日(火) 仏教婦人会総会 西宗寺様

今年の年忌法要は、 次のとおりです

二〇一九年（平成三十一年）の年忌に該当する年は、次のようになっております。亡くなられた年を一年目として、一周忌のみ満で数え、後は数え年として計算します。本堂に貼り出している「年回表」を、お参りの際に是非ご覧ください。

真宗では、年忌を左記の九回としています。なお、年忌法事は、命日の前にといいことはありません。前でも後でも結構ですので、適当な日を選んで勤めてください。

1 周忌	2018年(平成30年)没
3 回忌	2017年(平成29年)没
7 回忌	2013年(平成25年)没
1 3 回忌	2007年(平成19年)没
1 7 回忌	2003年(平成15年)没
2 5 回忌	1995年(平成 7年)没
3 3 回忌	1987年(昭和62年)没
5 0 回忌	1970年(昭和45年)没
1 0 0 回忌	1920年(大正 9年)没

※予約は早めをお願いします。

おわたましとは

（御移徒—お内佛開き）

お内佛を新調（購入やりホーム）され、ご本尊とお脇掛けを（本山から）お迎えする事を、おわたまし（本山より移してくるという意味—御移徒）と言います。分かりやすく言えば、お内佛開き（仏壇開き）ということで、仏事（勤行）をして初めてお内佛が開かれるのであります。なおご本尊とお脇掛けは、必ずご本山から受けましょう。

真逆のことですが、お内佛を廃棄（買い替えや廃業）する時や、長期にわたってお内佛を閉じる時には、お内佛閉じの仏事をします。

ご本山から受けるもの、ご本尊、お脇掛け二幅は、大きさと品質によりお代が異なります。



●脇掛(脇十字名号) ●本尊(阿彌陀如来) ●脇掛(脇十字名号)

上山(本山で)研修をしました

十一月十日(土)～十二日(月)の三日間、総代さん三名、盛り上げる会から二名、上山研修に参加頂きました。二日間の本山での学習と奉仕活動（御影堂山門と渉成園の清掃）、帰教式（三名）と盛り沢山の日程。佛弟子となった帰教式のことから、帰教式は人となっていく、往生への道を歩む名乗りであると、その意義を確認。帰依三宝（佛、法、僧）の誓いから、口伝で教えを聞き、伝えていくことが願われているとの話を聞きました。三日目は、親鸞さまのゆかりの地を訪ね歩きました。

（廣瀬 啓記）



宮御殿にて



清掃奉仕の様子

子ども 報恩講

お団子の色付け



飾ったお団子
(手前の一對)



子ども報恩講が勤まりました

十二月十五日土曜日九時から、「子ども報恩講」が開かれました。子どもたち二十名参加のもと、お供え（お華東）のお団子作りと色つけ、絵本の読み聞かせや自然あそびなどをしました。本堂でのお昼の「おとぎ」の後、お供えの団子を飾り、皆で「お勤め」をしました。続いて報恩講についての話を聞き、お供えの残りの団子をいただいで、夕刻解散しました。

子どもたちの感想から、お団子（お華東）作りとその色付けが特に印象深かったようです。

初めての催しでしたが、婦人会の有志の二名の方や、スタッフ七名の方の働きで、有意義な子ども報恩講が勤まりました。有り難うございました。

いま、光桂寺で話題にしてきている

門徒会館建設とは

「庫裏建設」のことです。

現在の庫裏が

- 一、老朽化していて（築四十五年経過）修理を要する箇所が出てきた。
- 二、厨房が手狭であり、二ヶ所の厨房を使用しているなど使い勝手が悪い。
- 三、厨房の控え室がなく、賄いの食事も、狭い所に窮屈な状態で摂っている。
- 四、お接待や会議の際、部屋が非常に手狭である。
- 五、厨房は、寺族の家庭の厨房も兼ねている。

大きな理由として、右記のような点があり、この際に建て替えが必要となってきたために、皆さん方に提案していこうとしています。四月以降、具体的に進めて参ります。

なお、寺族が住む建物については、既に建設済みであり、今回の庫裏の面積には含みません。従ってこの庫裏は、門徒の方々が使用する建物そのものを考えています。

最近の傾向から、通夜や葬儀は持ち出しがほとんどで、行く行くは各家庭での法事もすくなくなるのではと予想しています。

通夜や葬儀、法事についての出費も、困難になることも考え、葬儀や法事が気軽に出来るような部屋をもった門徒会館が、必要と思つてい

るところです。

これから先は、検討委員会や建設委員会を立ち上げ、皆さんの意志や考えをまとめながら進めていくこととなります。

第十九回 誕生お祝いの会

（花祭り）へのお誘い

四月七日（日）十一時より 光桂寺本堂で

昨年初めから今年三月までに誕生された、ご門徒のお子さんが対象です。ささやかですが、お祝いの会をいたしますので、該当される場合はお申し出をお待ちします。光桂寺までお知らせください。

アンケートの活用

（内容の吟味）を始めました

ご協力いただいた方、ありがとうございます。これからしっかりと精査し、活用や改善を図っていきます。

謹んでおくやみ申し上げます

こんなことを計画しています

今年度の行事の中で、主だったものについてご披露します。なお、それぞれの行事の前には、また内容をお伝えします。

盛り上げる会の充実

二ヶ月に一度開催の予定です。次は二月十一日に予定しています。何か一つ、実行することを当面の目標として進めます。

子ども報恩講の充実

十二月十四日に計画しております「こども報恩講」は、門徒さんの子どもたちを中心に、保育園出身者も含めて募ります。当面の目的は、報恩講の雰囲気味わってもらう事です。



十一月の総代等上山研修の参加者について

十一月二日〜四日 婦人、若手、盛り上げる会のメンバー等を中心に、上山して欲しい人や、再度行きたい人も含めて募ります。

住職の徒然なる…

ひとりごと

老婆心ながら、寺側から日頃の世の中の動きを見るにつけて、気になることを述べてみます。多くの皆さん方には関係ない事とは思いますが、まだ何の用意も出来ていない分家のお方、今後分家となる可能性のあるお方、またお若いお方には、一度お考えいただきたい事項であります。

① お墓

お墓（納骨堂など）を確保しておく

お骨を丁寧に葬るため、その場所として「納骨堂」や「お墓」を確保しておきたいものである。

仏さまになった故人の、生きていた証としての「お骨」であるから、丁寧に扱わなければならない。故人への娑婆でのうらみつらみを持ち込むものではない。仏になれば皆一緒、お浄土では娑婆の世界の事は通用しない。この世と浄土は一線を画していて、この世の物差しで計らない、計れないのがお浄土である。

② 葬儀

葬儀の持ち方や内容を決めておく

儀式として、人生の区切りとしての葬儀は行ものであり、そこから「人の死」を私のこととして、仏法に触れるきっかけとしたいも

③ 寺

前もって寺との接触を図っておく

のである。そして人として生まれた意義を学んでいければ幸いである。イベントにならぬよう、しめやかに行うのが望ましい。日頃から家族等で話し合いの場を持ち、出来れば決めておくことが肝心である。

仏式の葬儀となったら、いきなりのお寺へのお願いはなるべく避ける。事前に仏式で葬儀をするというところが総意で決まっていたら、葬儀をお願いする寺や僧侶について、予め確認やお願いをしておく。



光桂寺ホームページを開設しました

本年1月1日、光桂寺のホームページを開設しました。

<https://koukeiji.org/>

下のQRコードからもアクセスできます。現在は年間行事予定などの情報のみですが、随時充実させていきますので、ご家族皆さんにお知らせください。今後はこの「光桂寺だより」もホームページで閲覧できるようにする予定です。

